

2010年 3月 10日

島根大学長 殿

研究者名 (代表者名)

韓 秀麗 印

2009年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野	(該当する分野を○で囲んでください。) 1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 2. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 ③ 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究	
研究者の連絡先		
実施期間	2009年3月 ～ 2009年12月	
<p>研究の実績・成果の概要</p> <p>(1) 2009年9月20日～10月20日：寧夏南部山区の固原市と塩池県において調査を行い、労務輸出の関係資料（毎年の労務輸出の規模、質、労務による収入）を収集した。</p> <p>(2) 2009年11月：資料整理、データ処理</p> <p>(3) 2009年11月下旬：寧夏南部山区の農村における労働力移転に影響を与えている要素を分析し、労働力移転は主に制度、経済、教育程度、移転就職環境などの要素の影響を受けていることがわかった。また、戸籍制度と土地産権制度は農村の余剰労働力移転に影響を与える重要な要素であるが、研究のために抽出したのは1987年から2007年までのデータであり、この期間の戸籍制度と土地産権制度には顕著な変化がないため、定量分析の際にはこの制度要素を除外した。</p> <p>(4) 2009年12月上旬：寧夏南部山区の農村労働力移転に影響を与える各要素を分析し、農村教育、農村産業の非農業化、農民の実際の収入レベルは、農村の労働力移転に影響を与える重要な要素であるという結論を導き出した。</p> <p>(5) 2009年12月：論文「西部貧困地区における農村労働力移転要素の実証分析」を発表し、中国国内の主要刊行物である『安徽農業科学』に掲載された。</p> <p>(6) 2010年1月：寧夏南部山区の農村労務経済に関する系統研究を行った。</p>		
区 分	金額 (単位：円)	備 考
1. 物品費	16,645.1	ポータブルハードディスク
2. 消耗品費	12,632.5	印刷用紙、電池等
3. 謝金等	48,003.3	資料整理、資料収集
4. 旅費・滞在費	26,335.0	調査
5. その他	46,384.1	資料コピー、郵送費等
計	150,000	